

大阪府市場だより

第316号

(平成30年6月25日)

発行

大阪府中央卸売市場協会
茨木市宮島1-1-1
TEL (072) 636-3698
FAX (072) 636-3699
MAIL: 36983699@
iaa.itkeeper.ne.jp



絵：「そら豆」磯野 由美（磯丸運送）

定例常駐代表者会議

定例常駐代表者会議が6月21日8時15分から、管理棟4階会議室で開催された。山口議長（府中央卸売市場管理センター（株）代表取締役）の挨拶の後、議事が進められた。

議題1、府の余田次長から次の項目について報告があった。①改正卸売市場法が6月15日参議院本会議で可決成立。②直接集荷販売額の4月分は7億7340万円。前年比較で約2億円、46%増。③府議会環境農林水産常任委員会委員の紹介。地元先生の先生は入っていない。

議題2、管理センターの宮前統括から4ページの通り報告があった。三木大阪北部中央青果（株）社長から禁煙についての場内放送はどれくらいの頻度でしているのかの質問があり、1日2回だったが4回に増やすことになった。

議題3、市場協会通常理事事会提出議案について説明があった。

議題4、船木市場長が「余震は収まってきているが、まだどんなことが起きるかわかりません。十分注意して引き続き復旧に努めていただきたい」と話された。田中食品流通センター常務が、加工団地隣接地のファミリーマートなどの駐車場が不法駐車が多くて困っていたので、7月からコインパーキング化するための工事が行われているとの説明があった。小笠原（株）うおいち支社長から北冷横のスロープ下に2台のトラックが駐車しており危険との指摘があり、ポストコーン等の対策をとることになった。



大阪府北部地震 第2回緊急対策会議

大阪府北部地震第2回緊急対策会議が常駐会議に続いて開催され、山口議長が挨拶の後、各議題について大阪府及び管理センターから説明があった。議題1、被害状況の報告及び確認が行われた。

議題2、復旧状況。6月20日は被害状況の再調査及び余震に備え、府職員、管理センター社員全員出勤。午前9時から船木市場長、管理センター社長らによる現場調査を実施。復旧状況（緊急工事）は①落下危険物の天井板等の処理は発災当日から復旧工事に着手。完了まで概ね1〜1.5か月を要する。②雨漏りは20日午前に屋上を点検、午後に応急措置を実施。③ライフラインは、市水工水の配管破損・漏水数か所。18日午後から復旧工事に着手、現在は使用できる状態。抜本工事は月内完了予定。都市ガスは20日に大阪ガスによる現地調査。25日を日途に本管復旧予定。

議題3、今後の修繕・改修工事として、水産仲卸棟市水本管取り換え工事、青果・水産卸棟天井壁・床棟張替工事、青果・水産卸棟屋上防水工事、エキスパンションジョイント関連工事等であることが説明された。



大阪府北部地震対応を協議

緊急常駐代表者会議

6月19日8時20分から、管理棟4階会議室で、常駐代表者に加え、古田府流通対策室長、植田大果会長、警備・清掃・管理センター関係者等も出席して開催された。山口議長(大阪府中央卸売市場



管理センター(株社長)が、「古田流通対策室長もご出席いただきお礼申し上げます。昨日の地震では、幸い人がもなく、また業務に支障もないとのことだったので、今後どのような対応するか協議したい」と挨拶の後、議事を進められた。

別に発言があった。議題2、診断士による建物診断結果について報告があり、府公共建築室職員2名と応急危険度判定士2名で卸棟事務所を中心に確認され、天井のはがれた部分等の応急措置は必要であるものの、建物の躯体には問題がないので、建物自体を使用中止にする必要はないとの判定があり、19日朝から天井部分の応急措置を実施する。これを受けて市場は昨日から引き続き開場することを確認した。議題3、今後の対応について、府及び管理センターから「本日9時から業者が現地を確認し天井部分の応急措置を実施する」との説明があった。山口議長からは、事務所復旧のための仮移転先として、管理棟を使用してもらうこととの話がいった。被害を受けたパーテーション等は、使えるものと使えないものを判別し、使えないものはコンポスト跡地まで搬出してもらいたいとの説明があった。費用負担についても協議され、「建物や構造物についての原状回復は大府府、事務所の中の物品については事業主に」との確認があった。今後も余震が発生している中で、人命第一のために避難ルートを各事業者で職員に周知してほしいとの要請があった。古田府流通対策室長は、「困った状態は聞かせていただいたので、市場・管理センターと相談の上、しっかりと対応させてもらおう」と話された。

なお、同会議は大阪府北部地震第1回緊急対策会議とされた。

東野理事長らが重任

府青果卸売協同組合

府青果卸売協同組合(東野達雄理事長)の第37回通常総会が5月25日に同組合会議室で、来賓に、船木・府市場長、川村北果取締役果実統括部長、樋口大果常務取締役らを迎えて開催された。



冒頭、東野理事長が卸売市場法の改正について、「社会的インフラの核として、市場をしっかりと活用して

ていくためには、市場関係者が創意工夫をし、市場を活かして経営するという視点で、これまでの流れに立ち向かっていきたい。老朽化した施設の補強や修繕によりきれいな市場をめざし、またコールドチェーン化等市場関係者全体で市場全体の活性化にむけ、協議・実行に取り組んでいく所存」と挨拶。

引き続き、同氏を議長に議事が進められ、諸議案が了承された。事業計画では、①公平・公正な組合活動②法令順守③安全な食生活を守り健康で豊かな食文化④場内環境の整備⑤組合財政の健全化などを進めることとされた。

任期満了による役員改選では、東野理事長、細田及び永富両副理事長らが重任し、新たに阪口充氏が理事に、東野吉孝、辻本憲佳両氏が監事に選任された。

平成30年通常総会を開催

府水産物卸協同組合

府水産物卸協同組合(榎本昭弘理事長)の平成30年通常総会が5月25日に同組合会議室で開催された。開会に当たって、榎本理事長が、「市場は40周年を迎えた。わが組合は開場当初96社が現在50社に減少している。近い将来に向けての課題として、



連帯保証金の積み立てが底をつく前に、この制度の改正について、両卸と検討することはもとより、少しずつでも皆様からお預かりして積立することも視野に入れ、重要課題として検討していきたい。なお一層のご協力を賜りたい」と挨拶。

引き続き、同氏を議長に議事が進められ、平成29年度の事業報告・収支計算書や30年度事業計画・収支予算案など諸議案を審理し、原案通り可決した。

第41回通常総会を開催

加工食品卸売商業協同組合

同組合(小松宏司理事長)は、5月29日、第41回通常総会を開催した。平成29年度の事業報告・決算及び30年度の事業計画・予算案などの諸議案が原案通り可決された。総会に先立って理事会が開かれ、役員は再任されている。

府市場職場研修を開催

大阪府では、5月22日に、府市場に新たに配属された職員6名と環境農林水産部幹部他府市場に関する業務を担当する職員9名に対して、職場研修を実施した。3時50分に管理棟3階に集合し、4時15分からのマグロのセリから、仲卸店舗、冷蔵庫棟、ごみ置き場、発泡スチロール処理施設、燃料電池などを7時まで3時間かけて見学した。市場の活気にふれてもらうと同時に、施設の課題にも目で見てもら



- 〈新役員〉(敬称略。※は新任)
- ▷理事長=東野達雄
 - ▷副理事長=細田喜代司、永富完次
 - ▷専務理事=伊達孝、坂井正善
 - ▷常務理事=半田啓介、西田景典、平川秀光
 - ▷理事=増田勝、灰野和也、山北勝三、阪口浩、下井康裕、片岡和夫、坂口充※
 - ▷監事=東野吉孝※、辻本憲佳※
 - ▷相談役顧問=米花豊



府市場活性化事業

府市場では、市場活性化事業として、場内の卸や仲卸会社とともに、産地や量販店、事業連携している大学などの協力により、生鮮食料品の消費拡大キャンペーンや食育事業を展開している。

◆松坂屋高槻店で 市場開場40周年記念企画

「熊本の長崎うまかもんフェア」

5月9日から15日まで開催。5月12日にはマグロの解体と追手門学院大学学生による模擬せりがあり、大きな人気を呼んでいた。北果の三木社長もJ A全農長崎県本部長長崎県産いちご「ゆめのか」のイメージキャラクターとともにPRに努めておられた。



◆京阪百貨店守口店で 食育フェスタ

5月27日、昨年に引き続き開催された。府市場からは管理センター、北果、林田商店、事業連携の追手門学院大学等が協力。同大学の模擬せり体験や食育輪投げには子供たちの長い列ができていた。J A全農とつと、J Aグループ和歌山、J A全農徳島が「J Aの美味しい講習会」を開催し、ラッキョウの漬け方講習会や梅ジュースの作り方講習会、人参の栄養講座は



お母さんたちに大人気だった。



◆「なると金時」食育教室

5月29日、茨木市のおとの学園で、徳島県産「なると金時」の苗を定植する食育活動を行った。このイベントは、J A大津松茂、大阪北部中央青果(株)、府市場管理センター(株)の協力のもとに開催されているもので、おとの学園と鮎川保育園の5歳児クラスの45名が参加。徳島県J A大津松茂の3名の方が講師となり、わかりやすく子供たちに説明し、子供たちが熱心に苗を植えていた。収穫は10月頃だと声をそろえていた。

市場協会専門部会を開催

市場協会の専門部会が年度当初の会議を開催し、平成29年度事業報告、平成30年度事業計画案、その他を審議し、承認したが、その主な内容は次のとおり。

◆食品衛生部会

5月7日に開催。酒井孝博部長(大果大阪青果(株)北部支社長)が、「食品衛生部会は、市場の衛生管理の徹底を図ることにより、消費者が求める食の安全・安心にこたえていく役割を担っており、引き続き徹底を図っていきたい」と挨拶。続いて、湯城食品衛生検査所長からノロウイルスの流行について注意喚起があった。



◆安全部会

5月11日に開催。東野達雄部会長(大阪府青果卸売協同組合理事)が「今年度も安全で清潔な市場を目指して、市場関係者が一丸となつて取り組みたい」と挨拶。昨年引き続き、6月のフォークリフト講習会や来年1月の安全運転講習会の開催、今年の大掃除の日程を決定した。↓第1回…6月15日(金)、第2回…9月7日(金)、第3回…11月9日(金)。



◆計量部会

5月14日に開催。板東啓三部会長(榎大水北部支社長)が「計量法で定められた計量器の検査を円滑に実施し、会員の取引の公正と顧客の信用を確保するため、引き続きご尽力を」と挨拶。



◆福利厚生部会

5月8日に開催。小笠原元功部会長(榎うおいち北部支社長)が「部会活動についてアイデアを出していただき、できるだけ多くの皆さんに参加していただける活動をしていきたい」と挨拶。会議では、体育行事として、9月から10月の間にソフトボール大会、10月ゴルフ大会と文化祭、2月に卓球大会、3月にボウリング大会の計画案が示された。意見交換で、卓球について年2回の開催希望があるので、2回開催することが決定された。昨年に続き新規事業を今年度も検討することとされた。



29年度の計量検査は、144事業所の551台を検査し、9台が不合格となつている。今年度も、各社・団体別に、例年とほぼ同じ時期に実施する事業計画が決まった。

て事故防止に力を入れてほしいとの説明があった。また、管理センターの宮前統括から、場内の正門から西1号門への通り抜け車両について3月に文書でその自粛をお願いして以降も減少しているがまだ見られるので、引き続き対策をしていきたいと説明された。

【大阪府からのお知らせ】



2025 万博 大阪・関西へ

親睦ゴルフ大会

◆大果会親睦G C

大果大阪青果協が主催する恒例の大果会親睦ゴルフコンペが、5月23日の市場休場日に、東急グランドオー...

▽優勝・宮本佳紀(JAながみね)▽準優勝・山田展稔(山留商店)▽3位・撫養大輔(かねますフルーツ)▽4位・深田博章(東三温室組合)▽5位・柴田雄二(ダイワフルーツ)



◆府青果卸売協同組合主催G C

大阪府青果卸売協同組合(東野達雄理事長)が主催するゴルフコンペが6月6日の市場休場日に、東条の森カントリークラブ(兵庫県加東市)で95名が参加して開催された。今回は33回目の開催で、梅雨入り

の小雨模様の中ではあったが、参加者一同元気づいたプレイし、交流を深めた。(敬称略)

▽優勝 増田俊佑(かねますフルーツ)▽準優勝 緒方大典(伊達商店)▽3位 岩崎直樹(JA長野)▽4位 橋本幸夫(橋本運送)▽5位 吉川生(かねますフルーツ)

Table with 4 columns: 区, 分, 平成28年度, 平成29年度. Rows include 人身事故, 火災, 盗難, etc.

衛 検 だより

食品表示は適正ですか？

食品衛生検査所

食品の表示は、偽装問題がたびたび起こり、食品衛生法やJAS法等いくつかの法律で規定されていたことによる表現の違いなどがあった消費者や食品等事業者にはわかりにくいとされてきました。

そこで、それを解消するために消費者庁のもとで食品衛生法、JAS法、健康増進法の三法にある表示に関する規定が一元化され、「食品表示法」として平成27年4月1日に施行されました。

それにより、食品の表示内容は新たに定められた基準に従うことになりましたが、新しいラベルに切替えるための準備期間として定の経過措置期間が設けられました。今回、経過措置期間が平成32年

管理センターからの報告(警)

宮前統括から次の項目について報告があった。(数字は取扱)

- 活性化事業 ○ハード整備(重点事業) ◆コールドチェーン化に向けての具体的取り組み(水産物卸売場)設計、基本計画策定に向けてコンサルへの業務委託 ○ソフト事業 ◆市場開場40周年記念企画第2弾 [6/27~7/3] 徳島「うまいんじょ徳島」フエマ松坂屋高槻店 × 「すだちくん」 × 「せりちゃん」 6/27 30名協力 大果、青果仲卸林田商店 ◆見学 ヴタキイ農場 場付附属芸専門学校見学 83名 7/5 *協力 衛検、北果講義 市場運営 取引業務協議会 北野委員(消費者6団体) 7/12 ■修繕 67件、1,450万円 ◆青果棟事務所廻り駐車場画線他修繕工

フォークリフト講習を開催

市場協会安全本部会(部会長 東野達雄府青果卸売協同組合理事長)では、場内での交通事故防止と安全性の向上を図るため、茨木労働基準協会の協力で実施。管理棟会議室での学科講習、水産棟2階卸売場等における卸会社のフォークリフトをお借りした実技講習など、管理センター、卸会社、北冷など場内関係者の協力によるもの。今回は、各社・団体から35名の受講があり、6月の水曜日4回の休場日に、学科から始まり実技までの講習に汗を流している。



卸売業者取扱高(平成30年5月)

Table with 5 columns: 卸売業種名, 種類, 数量(トン), 前年比%, 金額(千円), 前年比%. Rows include 青果, 水産物, 卸売業者計.

開場日数 5月 平成30年 21日 29年 22日

新着図書案内

- ※かがみの孤城 辻村 深月著 ポプラ社
※盤上の向日葵 柚月 裕子著 中央公論新社
※屍人荘の殺人 今村 昌弘著 東京創元社
※AXアックス 伊坂 幸太郎著 角川書店

の状況○排出量約61トン
■カラス対策○カラス捕獲数3回16羽
▽次回6/27予定
■禁煙対策○管理棟駐車場(ファミリーマート横)1カ所喫煙ボックス6/1供用開始▽通告書交付ゼロ